

第 7 6 回神奈川県理容競技大会要項一覧表 （令和 8 年 5 月 1 9 日）

全部門において競技会場での携帯電話の使用を禁止する。 ※ 1 ～ 3 部の上位 3 名、 4 部の優勝者 1 名を、神奈川県指定強化選手とし、

モデル審査でぬらします。但し、学生種目は除く。 選考会においては、大会要項（モデル審査・競技審査・仕上り審査）も県大会同様に行う。

部門	競技種目／競技時間	競 技 事 項	審査要項(審査の基準)	モデル	出場資格・登録料
第 1 部門	<p><u>全国大会種目</u></p> <p>《競技種目》 クラシカルカット・ クリエイティブスタイル</p> <p>《競技時間》 カット・スタイリング 3 5 分 (但し、開始 2 0 分以内にスタイリングに入ってはならない)</p>	<p>《競技規定》</p> <p>① カットは総体的に 3 cm 以上行うこと。</p> <p>② 男性らしいクラシカルカットを施した、クリエイティブなスタイルを表現すること。</p> <p>③ ヘムラインは男性らしいシャープな仕上がりで、ネープには鮮やかな色彩を施すこと。</p> <p>④ トップス(トップ、フロント、クラウン含む)にはクリエイティブなデザインが表現されていること。</p> <p>⑤ ヘアカラーリングは自由、但しホースシュー(0 字)パートライン下は黒のみ。</p> <p>⑥ 競技中はスタンドクランプを使用すること。競技終了時には必ずテーブルにつけた審査用のテーブルクランプにウィッグを装着すること。(クランプは持参すること。)</p> <p>《用 具》 自由 (但し、クリッパー、トリマーは使用不可)</p> <p>《整髪料》 自由</p> <p>《衣 装》 ウィッグにはヘアデザインに合わせた衣装(上半身のみ)を、競技終了後に設ける 1 分間の衣装着用時間内に着用させること。</p> <p>《禁止事項》 欄外に「各部門共通禁止事項」として記載。</p>	<p>① 作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。</p>	<p>① モデルはメンズウィッグ。</p> <p>② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、3 cm 以上カットできるモデルであること。</p> <p>③ ホースシュー(0 字)パートライン下にはカラー以外の薬液処理がされていないモデルであること。</p> <p>④ ウィッグの底以外に、氏名等を買収込まないこと。</p>	<p>組合員及びその従業員である理容師とする。</p> <p>登録料 5, 000 円</p>
第 2 部門	<p><u>全国大会種目</u></p> <p>《競技種目》 レディスカット・クリエイティブスタイル</p> <p>《競技時間》 カット・スタイリング 3 5 分</p>	<p>《競技規定》</p> <p>① カットは総体的に 3 cm 以上行うこと。</p> <p>② 女性らしさを追求したクリエイティブなスタイルを表現すること。</p> <p>③ 女性らしさを追求したヘアカラーリングが施されていること。</p> <p>④ ヘアデザインに合わせ、メイク・衣装をトータルコーディネートすること。</p> <p>⑥ 競技中はスタンドクランプを使用すること。競技終了時には必ずテーブルにつけた審査用のテーブルクランプにウィッグを装着すること。(クランプは持参すること。)</p> <p>《用 具》 自由</p> <p>《整髪料》 自由</p> <p>《衣 装》 ウィッグにはヘアデザインに合わせた衣装・装飾品(上半身のみ)を、競技終了後に設ける 1 分間の衣装着用時間内に着用させること。</p> <p>《禁止事項》 欄外に「各部門共通禁止事項」として記載。</p>	<p>① 作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。</p>	<p>① モデルはレディスウィッグ。</p> <p>② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、3 cm 以上カットできるモデルであること。</p> <p>③ ウィッグの底以外に、氏名等を買収込まないこと。</p>	<p>組合員及びその従業員である理容師とする。</p> <p>登録料 5, 000 円</p>
第 3 部門	<p><u>全国大会種目</u></p> <p>《競技種目》 Hair Creation－2026「E a n c e」</p> <p>《競技時間》 ブロッキング・ カット・スタイリング 3 5 分</p>	<p>《競技規定》</p> <p>① カットは総体的に 3 cm 以上行うこと。</p> <p>② 「E a n c e」の提案するメンズスタイルであること。</p> <p>③ ヘアカラーリングは、日本人の黒髪を活かしハイライトで立体感と軽さをプラスすること。</p> <p>④ セイムレイヤーをベースとしたカットが施されていること。</p> <p>⑤ ピンパーマで、柔らかい動きとドレスダウンした雰囲気を出すこと。</p> <p>⑥ 「E a n c e」の提案するブロッキングを必ず行うこと。</p> <p>⑦ 競技中はスタンドクランプを使用すること。競技終了時には必ずテーブルにつけた審査用のテーブルクランプにウィッグを装着すること。(クランプは持参すること。)</p> <p>《用 具》 自由 (但し、ヘアアイロンの使用は禁止)。</p> <p>《整髪料》 自由</p> <p>《衣 装》 ウィッグには「E a n c e」のコンセプトに合わせた衣装(上半身のみ)を、競技終了後に設ける 1 分間の衣装着用時間内に着用させること。</p> <p>《禁止事項》 欄外に「各部門共通禁止事項」として記載。</p>	<p>① 作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。</p>	<p>① モデルはウィッグ。 メンズ・レディスは問わない。</p> <p>② ヘアは総体的にブラント状が確認でき、3 cm 以上カットできるモデルであること。</p> <p>③ ウィッグの底以外に、氏名等を買収込まないこと。</p>	<p>組合員及びその従業員である理容師とする。</p> <p>登録料 5, 000 円</p>

第4部門	<p>全国大会種目</p> <p>《競技種目》 SATSUMAMODE FASHIONSTYLE (サツマモード ファッションスタイル)</p> <p>《競技時間》 メンズ・レディースの2スタイルを 35分</p>	<p>《競技規定》</p> <p>① 競技はレディースカットから入り、次にメンズに入る。 なお、カットは3cm以上行うこと。</p> <p>② ヘアスタイルは、ファッション性の高いデザインであること。</p> <p>③ 競技者の自由な発想が表現された作品であること。</p> <p>④ カラーリング、パーマ等の事前処理は自由とする。</p> <p>《用 具》 自由</p> <p>《整髪料》 自由</p> <p>《衣 装》 ウィッグにはヘアデザインに合わせた衣装(上半身のみ)を、競技終了後に 設ける2分間の衣装着用時間内に着用させること。</p> <p>《禁止事項》 欄外に「各部門共通禁止事項」として記載。</p>	<p>① 作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかを見る。</p>	<p>① モデルはメンズ、レディースウィッグとする。</p> <p>② ヘアは総体的に3cm以上カットできるモデルであること。</p> <p>③ ウィッグの底以外に、氏名等 を買い込まないこと。</p>	<p>組合員及びその従業員 である理容師とする。</p> <p>登録料 4,000 円</p>
------	--	---	-------------------------------------	---	---

《各部門共通禁止事項》

- ① 競技時間開始前にウィッグに触れること。
- ② ヘアアクセサリー、つけ毛等をモデルに装着すること。
- ③ カラースプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。
- ⑤ 競技中、未消毒の道具の使用や、モデルの髪み息を吹きかけるなどの不衛生な行為。

部門	競技種目／競技時間	競 技 事 項	審査要項(審査の基準)	モデル	出場資格・登録料
第 5 部 門	《競技種目》 学生種目　A ワインディング 《競技時間》 3 0 分 《競技開始の状態》 事前準備時間中（1 0 分間）にウィッグの設置と用具の準備、水ぬらし、ブロッキングを行う。	《競技規定》 ① モデルウィッグの毛髪のは長さは、自由とする。 ② 指定の配列（バックスタイル・C ライン。サイドは横スライス）であること。 ③ 総体的にワインディングを行い、ロッドは1 種類以上で6 0 本以上使用すること。 ④ モデルウィッグの毛髪は、濡れていてもよい。 ⑤ 水ぬらしの水にリンス剤を入れて使用してもよい。ただし整髪料の使用は不可とする。 《禁止事項》 ① モデルウィッグに印（点や線等）をつけてはならない。 ② モデルウィッグに薬液処理（パーマ・ヘアカラー等）を行ってはならない。 ※その他全国理容美容学生技術大会の競技規定に準じる。 《器具・用具》 ① ワインディング用モデルウィッグ（メンズウィッグ）クランプ等、その他の必要な用具を持参すること。 ② モデルウィッグはプレカット済みのモデルウィッグで黒髪のものを使用すること。 ③ ペーパー（白もしくは淡色）、ロッド（改造ロッドは可）、輪ゴム（白）を使用すること。 なおロッドは現在市販されているものに限る。	① 作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。	男性ウィッグ使用。（種類は自由）	理容学校2 年生 ・通信科2 ・3 年生 （2022 年5 月現在）
	《競技種目》 学生種目　B ミディアムカット 《競技時間》 3 0 分 （カット2 0 分、セニングカット・整髪1 0 分） 《競技開始の状態》 事前準備時間中（1 0 分間）にウィッグの設置と用具の準備、水ぬらし、分髪を行う。	《競技規定》 ① 髪型は左7：3 分髪によるミディアムカット。 ② 後頭髮際から1 cm 以上、クリッパーで2 mm に刈ること。 ③ 整髪にはペースト状のヘアワックスを使用し、ソフトに仕上げること。 ④ セット・セニングカット・整髪を競技時間内にすべて行うこと。 《禁止事項》 ① 競技前のウィッグの毛髪に、水以外のものを塗布してはならない。 ② ドライヤーの使用は禁止する。 ③ カット時間（2 0 分）内においてのセニング鋏の使用を禁止する。 ④ セニングカット・整髪時間（1 0 分）内においてのカット鋏の使用を禁止する。 ※その他全国理容美容学生技術大会の競技規定に準じる。 《器具・用具》 ① クランプ、国家試験に必要なカット用具（梳き鋏を含む）・整髪用具を持参する。 ② ウィッグは、全国理容美容学生技術大会のミディアムカット部門で使用するものと同じとする。 ※その他全国理容美容学生技術大会の競技規定に準じる。	① 作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。	男性ウィッグ使用。（種類は自由）	登録料　なし
	《競技種目》 学生種目　C クラシカルバックバリエーションセット 《競技時間》 3 0 分 《競技開始の状態》 事前準備時間中（1 0 分間）にウィッグの設置と用具の準備、水ぬらしを行い、オールバックに梳かした状態から開始する。	《競技規定》 ① モデルウィッグ（メンズウィッグ）を使用し、伝統的なクラシカルカットによるファッション性とデザイン性を備えたスタイルであること。 ② フロントのデザインは、自由とする。ただし、トップからバックのクラシカル部分につながりがあること。 ③ 毛髪のは長さはフロント部分を15 cm までとする。 ④ カットは、事前に済ませておくこと。 ⑤ ヘアカラーは自由で、事前に済ませておくこと。 《禁止事項》 ① ヘアカラー以外の薬液処理をしてはならない。 ② ヘアアイロン、ネットまたはパネル状の用具を使用してはならない。 ※その他全国理容美容学生技術大会の競技規定に準じる。 《器具・用具》 ① モデルウィッグ（メンズウィッグ）、クランプ等、クラシカルバックバリエーションセットに必要な用具を持参する。また、ダッカークリップの使用は可とする。 ② 整髪料は自由とする。	① 作られたヘアスタイルが競技規定に則っているかをみる。	男性ウィッグ使用。（種類は自由）	